

道路関係の評価項目調書

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号 <small>はまだ みすみ</small> 浜田・三隅道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県 <small>はまだ ほんらいちよう</small> 浜田市原井町 至：島根県 <small>はまだ みすみちようもりみぞかみ</small> 浜田市三隅町森溝上	延長	14.5km		
事業概要					
<p>一般国道9号は、<small>きょうと</small>京都市から下 <small>しものせき</small> 関市に至る延長約755kmの主要幹線道路である。</p> <p>浜田・三隅道路は、国道9号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした島根県浜田市原井町から浜田市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの自動車専用道路である。</p>					
H16年度事業化		H15年度都市計画決定		H17年度用地着手	
全体事業費		約585億円		事業進捗率 93%	
		(H27年3月末現在)		供用済延長 8.1km	
計画交通量 16,700台/日～17,700台/日					
費用対効果 分析結果 (3便益)	B/C (3便益) (事業全体) 1.4 (残事業) 15.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 42/713億円 事業費：20/656億円 維持管理費：22/57億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 643/1,026億円 走行時間短縮便益：479/757億円 走行経費減少便益：118/190億円 交通事故減少便益：46/79億円	基準年 平成27年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=13.6～17.4 (交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.4～1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=14.7～16.1 (事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.4～1.5 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=15.1～15.7 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 損失時間の削減が見込まれる【46,679千人・時間/年⇒45,849千人・時間/年 約1.8%削減】 ・ 現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度が改善される 【浜田市熱田町：17.8km/h⇒40.0km/h】 ・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【76便/日】 ・ 浜田市三隅町から浜田駅（特急停車駅）へのアクセスが向上【浜田市三隅支所～浜田駅：42分⇒31分】 ・ 浜田市から萩・石見空港（第三種空港）へのアクセスが向上 【浜田市役所～萩・石見空港：69分⇒48分※1】 					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 益田市から浜田港（重要港湾）へのアクセスが向上【益田市役所～浜田港：64分⇒43分※1】 					
③国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り【山陰自動車道】 ・ 新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する【浜田市～益田市】 ・ 隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する【浜田市～益田市】 ・ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上【浜田市三隅支所～浜田市役所：38分⇒27分】 					
④個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な観光地へのアクセス向上【しまね海洋館アクアスの入り込み客数（H26）：37万人/年】 					
⑤安全で安心できるくらしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三次医療施設へのアクセス向上【浜田市三隅支所～浜田医療センター：23分⇒21分】 					
⑥災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 島根県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道9号） ・ 緊急輸送道路である一般国道9号が通行止めになった場合の代替路線を形成する ・ 要防災対策箇所等が解消される（8箇所） 					
⑦地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出削減量が約8.5千t/年（約0.4%）削減【1,892千t/年⇒1,884千t/年】 					
⑧生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出削減量が約27.9t/年（約0.6%）削減【4,911t/年⇒4,883t/年】 					

・SPM排出削減量が約2.2t/年（約0.8%）削減【262t/年⇒260t/年】

⑨環境への影響を考慮した効果

・約8.5千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【約4.8億円※2】

⑩他のプロジェクトとの関係

- ・「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置づけられている
- ・大規模事業（一般国道9号 三隅・益田道路、臨港道路福井4号線）と一体的に整備する必要あり
- ・「島根県総合発展計画（H24.3）」、「浜田市総合振興計画（H23.3）」に位置づけられている

※1：三隅・益田道路の効果を含む

※2：開通後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

島根県知事の意見：対応方針（原案）について妥当である。

一般国道9号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成28年度での確実な供用を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区分についても、未着手区分の早期事業着手、事業中区分の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

日本海側拠点港として浜田港（原木）が平成23年11月に選定。

浜田・三隅道路と直結し、浜田港の物流効率化を図る「臨港道路 福井4号線」がH24年度に事業化。

浜田・三隅道路の西側に位置する「一般国道9号 三隅・益田道路」がH24年度に事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成27年3月末時点で、用地買収については100%が完了しており、原井IC～西村ICまでが既に開通している。現在は橋等の工事を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

西村IC～石見三隅ICを平成28年度の開通を予定している。

施設の構造や工法の変更等

今後の実施にあたっては、コスト削減を図りつつ事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

は ま だ み す み
一般国道9号 浜田・三隅道路
事業再評価

平成27年 8月

国土交通省 中国地方整備局

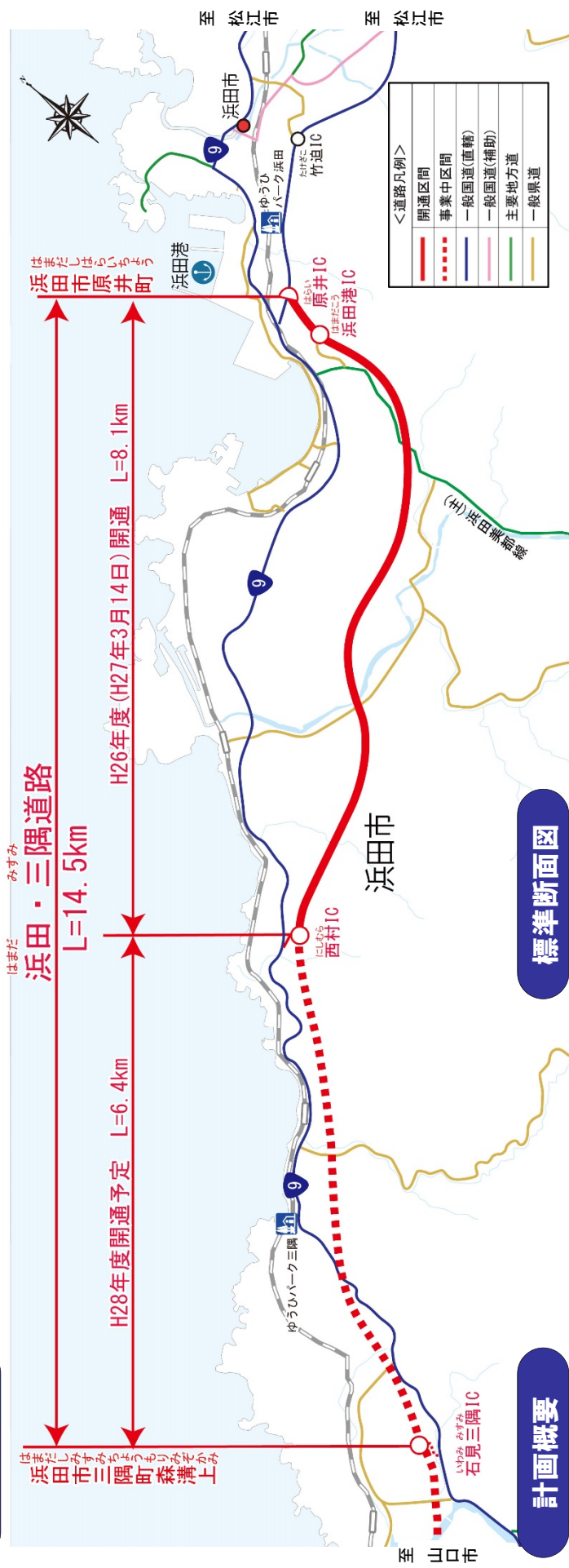
2. 事業概要および経緯

(1) 事業概要

一般国道9号 浜田・三隅道路

・本道路は、国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、医療・物流活動を支援するとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化等に寄与する自動車専用道路である。

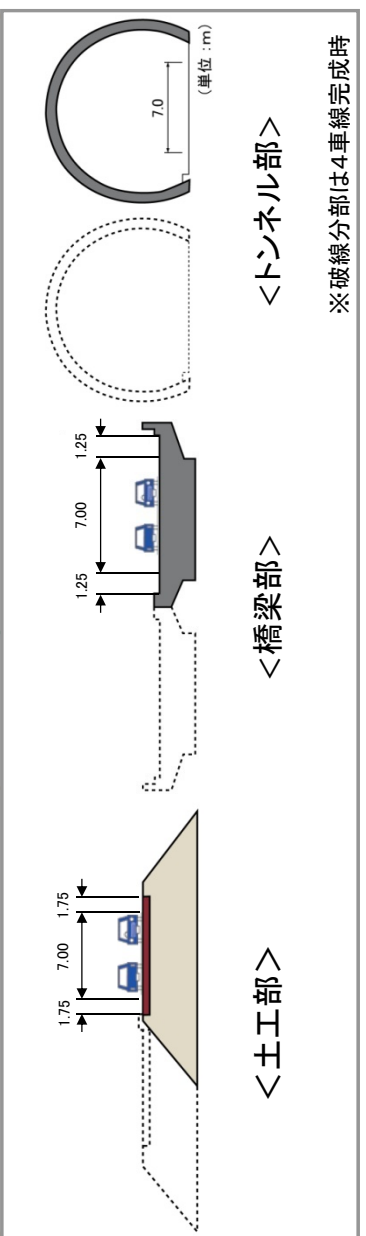
計画概要図



<道路凡例>

開通区間	---
事業中区間	---
一般国道(直轄)	---
一般国道(補助)	---
主要地方道	---
一般県道	---

起 終 点	起点：浜田市原井町 終点：浜田市三隅町森溝上
計画延長	14.5km
道路規格	第1種第2級
設計速度	100km/h
車 線 数	暫定2車線



2. 事業概要および経緯

(3) 事業の進捗状況

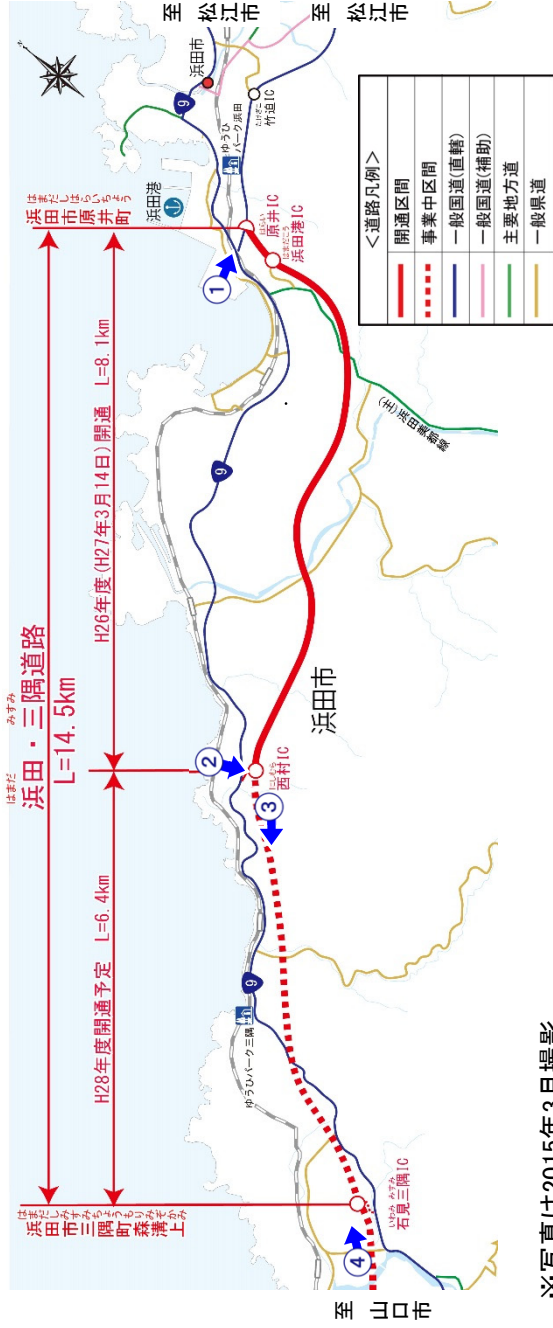
一般国道9号 浜田・三隅道路

・平成26年度に原井IC～西村IC間が開通し、平成27年3月末時点で用地買収は100%完了しており、残区間の西村IC～石見三隅ICは、平成28年度の開通を目指し、橋等の工事を推進している。

● 事業全体の進捗状況
(平成27年3月末時点)

用地	100%
工事	92%
全体	93%

※暫定2車線の事業費に対する割合

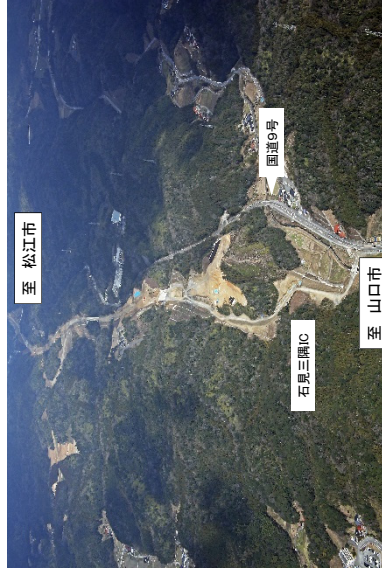


※写真は2015年3月撮影

① 原井地区より浜田市街を望む



③ 折居地区を望む



④ 石見三隅ICより折居地区を望む

② 西村ICを望む

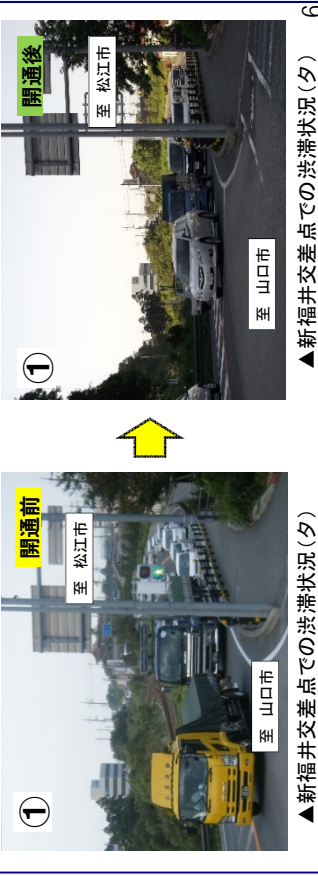
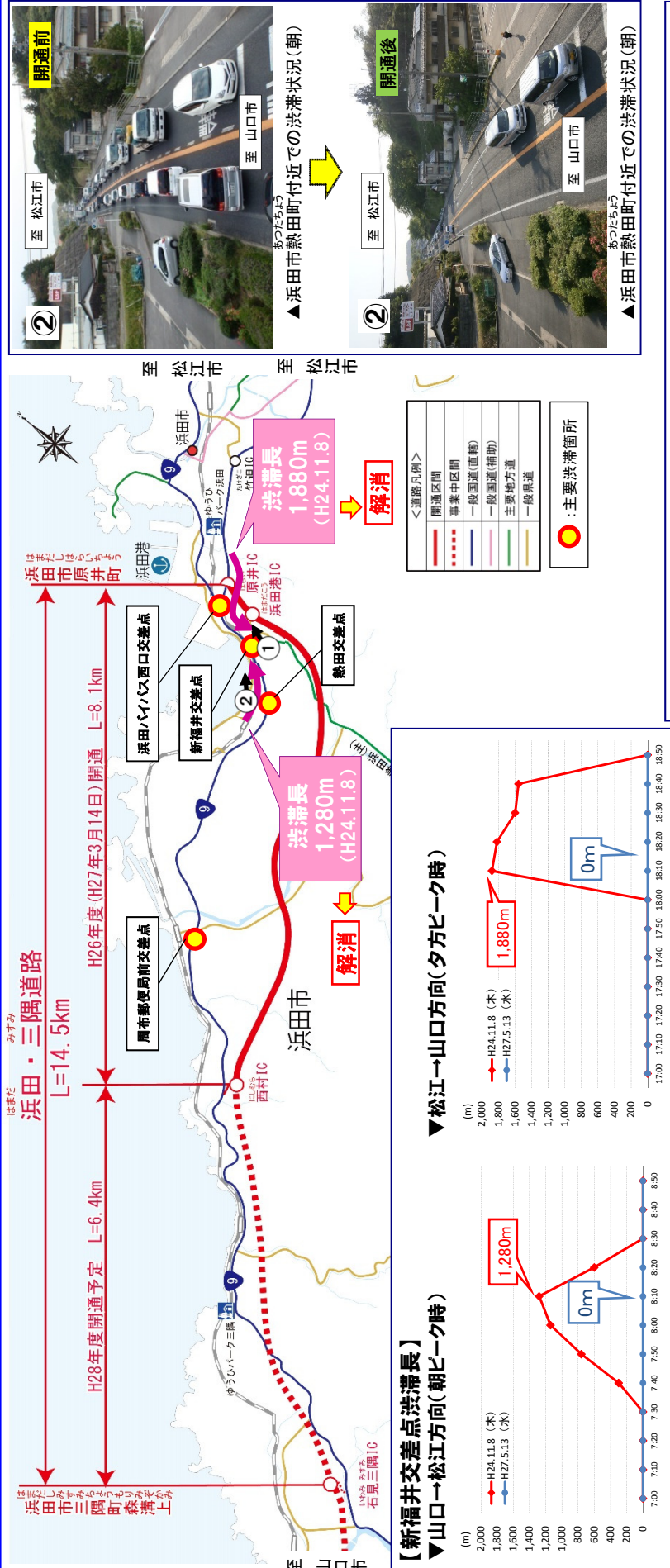


② 西村ICを望む

2. 事業概要および経緯

(5) 渋滞状況(開通区間 原井IC～西村IC間の渋滞状況の変化)

- ・並行する国道9号には4箇所の主要渋滞箇所が存在している。特に新福井交差点では、朝・夕ピーク時の交通集中により、1,800mを超える渋滞が発生していたが、原井IC～西村IC間の開通により、並行する国道9号の渋滞が解消。
- ・原井IC～西村ICまでの所要時間は、朝のピーク時(松江方向)で約8分短縮、夕方のピーク時(山口方向)で約8分短縮。

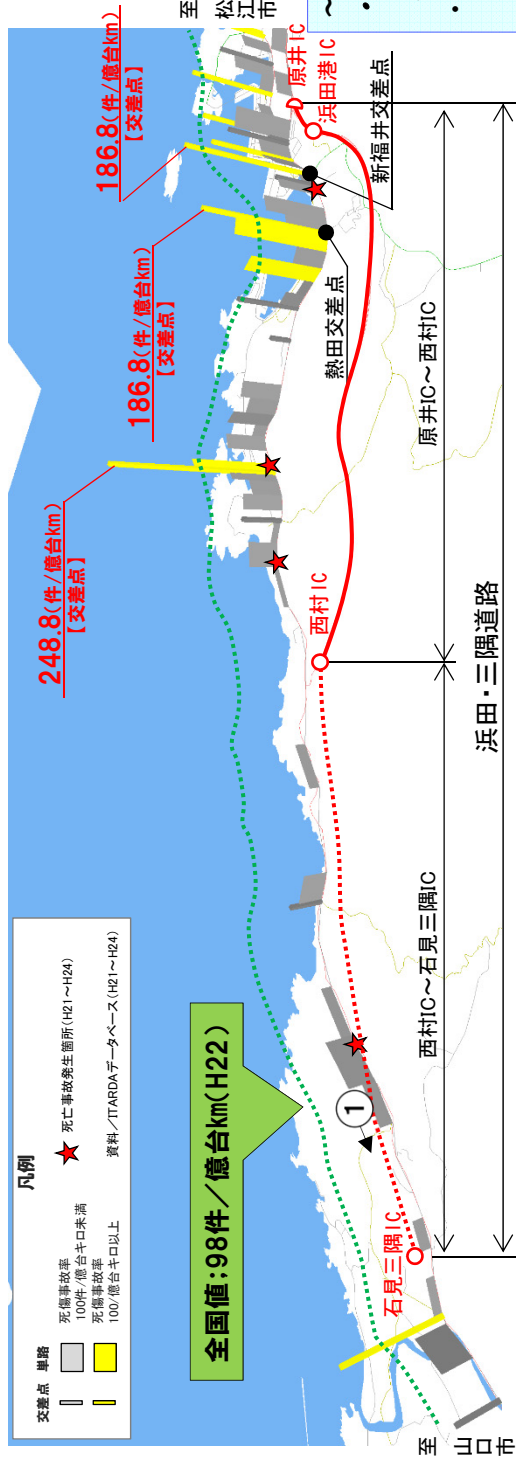


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題②: 国道9号の交通事故

・並行する国道9号では、死傷事故率の全国平均を上回る区間が点在しており、交通事故致死率は全国平均の約4倍と高く、事故対策は喫緊の課題である。事故類型割合(H21~24データ)は、新福井交差点付近での交通混雑に伴う追突事故が多発している。
 ・浜田・三隅道路の整備により、死傷事故件数の削減が期待される。

事故発生状況(死傷事故率3Dマップ)

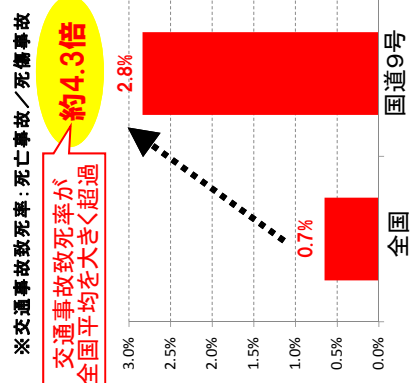


▲①事故写真
 発生日: 平成25年8月22日
 発生場所: 浜田市三隅町白砂

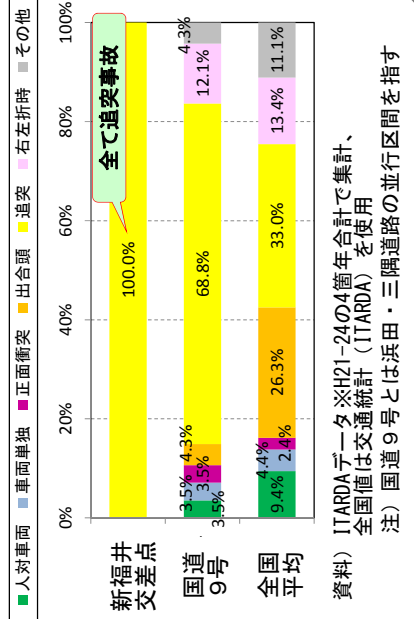
～警察の声～
 ・国道9号の朝夕に渋滞のために追突事故が多く発生していたが、原井～西村間通後は事故が減少していると感じている。
 ・西村IC以西の区間は急勾配、急カーブが多く危険であり、迂回路もないことから、道路整備が必要である。
 (H27.5浜田警察署ヒアリング)

国道9号の事故発生状況

<交通事故致死率>

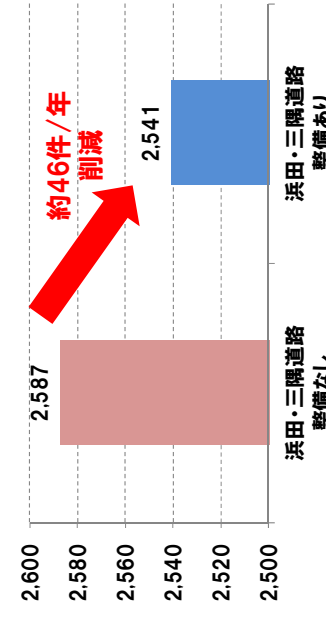


<事故類型割合>



期待される道路の役割(効果)

[死傷事故件数の削減]



【算出対象範囲】
 ・死傷事故件数は、費用便益分析算出対象エリアを対象に算出。
 ※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり/なしのケースの交通量を用いて算出。

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題③: 交通事故・積雪により頻発する国道9号の通行止め

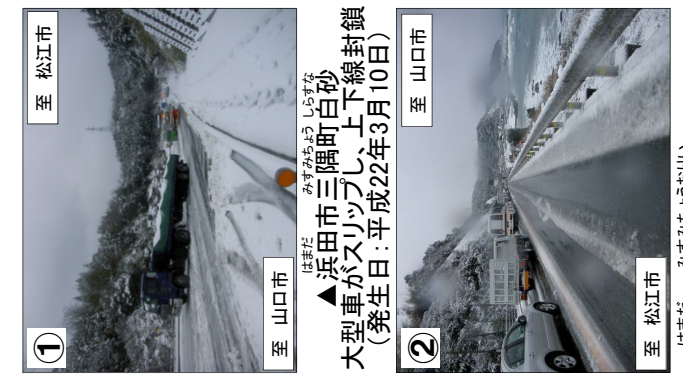
- ・並行する国道9号では、交通事故や積雪による全面通行止めが年間平均で**2回発生(約1.6時間/年)**。
- ・通行止めに伴い、著しい渋滞や、大規模な迂回を強いられるなど、生活や物流に支障をきたしている。
- ・浜田・三隅道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線の強化が期待される。

期待される道路の役割(効果)

〔迂回時の所要時間短縮〕

経路	所要時間	変化
〔通常時〕(国道9号経由)	71分	
〔迂回時〕(国道186号・国道191号経由)	117分	約46分増加
〔原井IC～西村IC開通後〕(浜田・三隅道路経由)	64分	約53分短縮
〔浜田・三隅道路全線開通後〕(浜田・三隅道路経由)	60分	約57分短縮
〔山陰道全線整備開通後〕(浜田・三隅道路、三隅・益田道路経由)	50分	約17分短縮

※ 原井IC～西村IC開通後: 浜田・三隅道路はH27.5.13(水)期ピーク時実測結果
 ※ 浜田・三隅道路全線開通後及び山陰道全線開通後: 浜田・三隅道路および三隅・益田道路はV=70km/h
 ※ その他の道路はH22道路交通センサ混雑時旅行速度

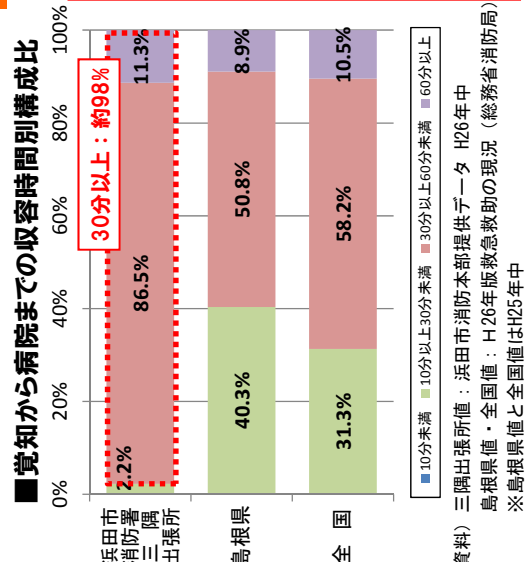
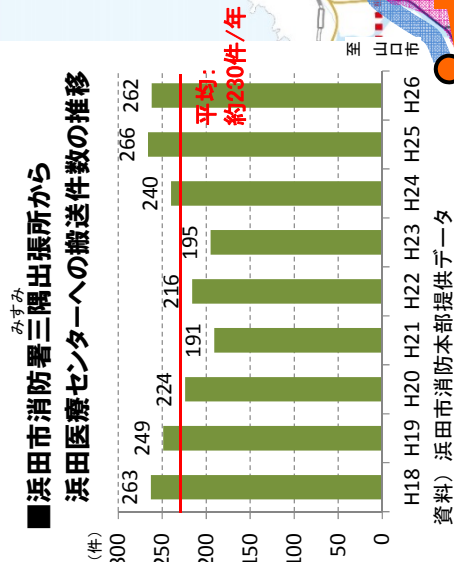


- ### ～地域の声～
- ① 足止めや予定変更が発生して困っている
 ◆ 目的地に到着できないうえに予定を変更。
 ◆ 事故のための1時間ほどの渋滞中にトイレに行けず困った。
 - ② 小型車(乗用車)でも周辺道路への迂回は難しい。(したくない)
 ◆ 国道9号以外の周辺道路が狭すぎて、そこを抜けるのに時間がかかり、精神的にも困る。
 ◆ 国道9号以外の周辺道路は狭い道が多いので、対向車が現れて立ち往生。
 (H21益田市・浜田市住民アンケート)

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題④：重症患者の救急救命

- ・浜田市三隅町には救急病院がないため、浜田市消防署三隅出張所では年間約390件の搬送のうち、約6割(約230件/年)を第3次医療機関である浜田医療センターへ搬送している。
- ・三隅出張所での収容時間は約9割が30分以上であり、全国平均と比べると救急医療搬送の水準が低い。
- ・浜田・三隅道路の整備により、浜田医療センターへの搬送時間の短縮や安静や安静な搬送が可能となり、救急医療の支援が期待される。



期待される道路の役割(効果)
〔三隅出張所から浜田医療センターの救急搬送時間の短縮〕

【整備前】23分
【全線開通後】21分
約2分短縮

浜田医療センター

三隅出張所

※ 整備前(国道9号ルート)：H22道路交通センサスの規制速度で算出(三隅出張所から直接浜田医療センターまで向かった時間)
全線開通後：浜田三隅道路はV=70km/h、その他はH22道路交通センサスの規制速度より算出

～消防の声～

- ・部分開通により、山陰道はカーブや段差も少なく、救急搬送中の患者への負担軽減につながっています。
- ・部分開通により、国道9号の朝夕の渋滞が解消され、緊急走行がスムーズになりました。
- ・西村IC以西の区間は急勾配、急カーブが多く、患者への負担軽減、平均速度向上のため道路整備が必要です。
(H27.5浜田市消防本部ヒアリング)

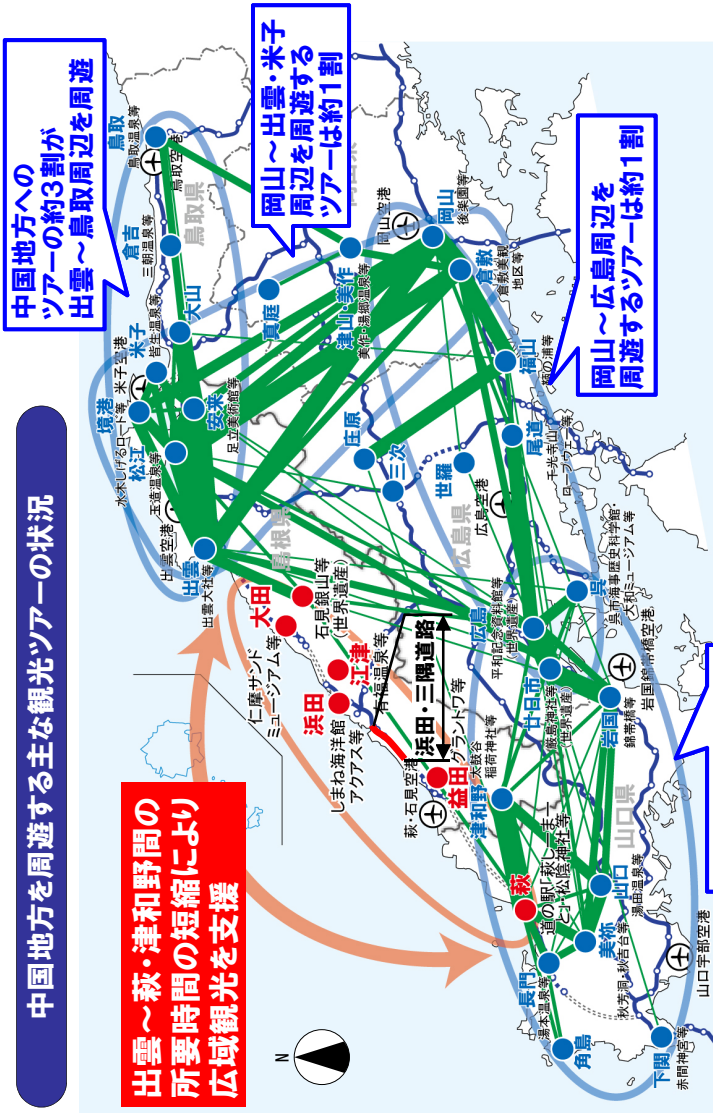
4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題⑤: 交流・観光の活性化

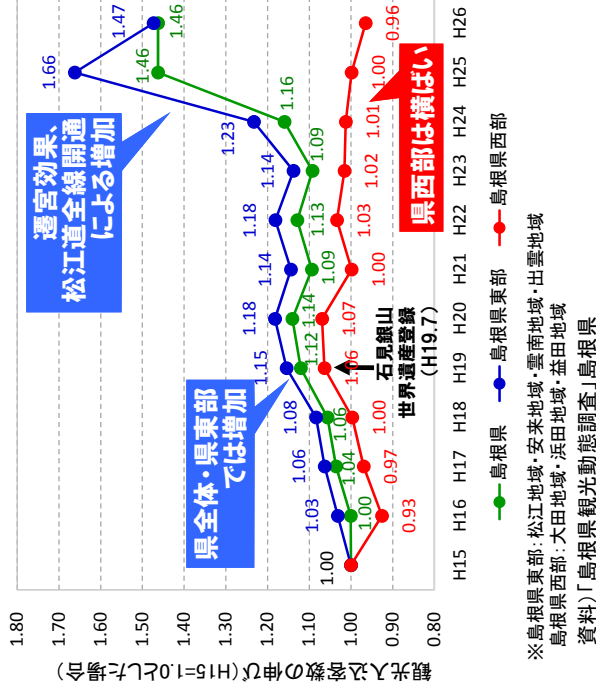
・浜田・三隅道路の整備により、東西方向の移動時間が短縮され、広域的な周遊観光への高まりや、観光客数が伸び悩んでいる島根西部の観光の活性化が期待される。

中国地方を周遊する主な観光ツアーの状況

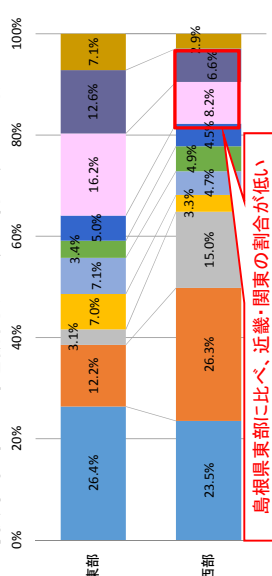
**出雲～萩・津和野間の短縮により
広域観光を支援**



【島根県内の観光入込客数の推移(H15=1.0)】



【島根県東部・西部を訪問する観光客の発地内訳(H26)】



～地域の声～

- ・石見銀山遺跡や出雲大社など県内の観光地を多くの観光客に巡ってもらうためにも、移動に時間が掛からない高速道路は必要だ。
(H24.9益田市長、山陰中央新報企画特集より)
- ・山陰(島根県西部)を縦断する道路が9号線しかなくて、松江・出雲・浜田・益田・津和野をセットの観光コースが組めない。
(H24.11企業アンケート)
- ・観光交通を誘致するには、アクセス道路としての高速道路をネットワーク化することが不可欠であり、高速バス利用者も含め観光客の周遊化も期待される。
(H24.12浜田商工会議所ヒアリング)

中国地方へのツアーの約3割が、広島～萩周辺を周遊

高規格幹線道路 > 開通中区間 > 事業中区間 > 未事業化区間

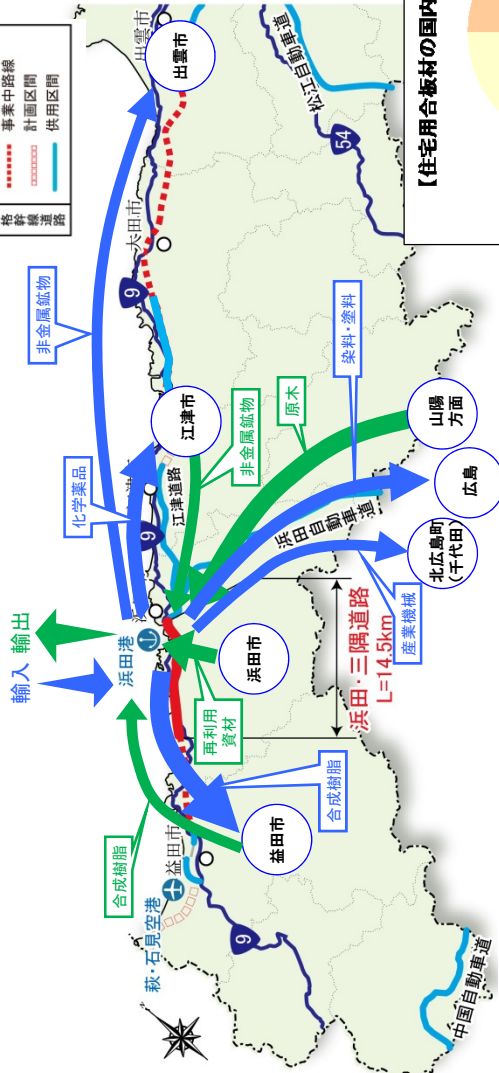
※ JTBで取り扱っている中国国内ツアー(H26.8.25時点)におけるHP掲載情報)の内、添乗員が同行するツアーのみを対象に集計。
※ 設定時期、出発空港、プラン(料金・グレード等)のみが異なる場合は同一のツアーとみなした。
※ ウォーキングを主たる目的としたツアーや、鉄道を主たる移動手段とするツアーは対象外とした(クルーズ船での観光を含むツアーについては、陸上での移動に関する部分のみを別表とした)。
※ 線の太さは、ツアーで組まれている周遊コース数の多さを表す。

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題⑥：物流ネットワークの形成

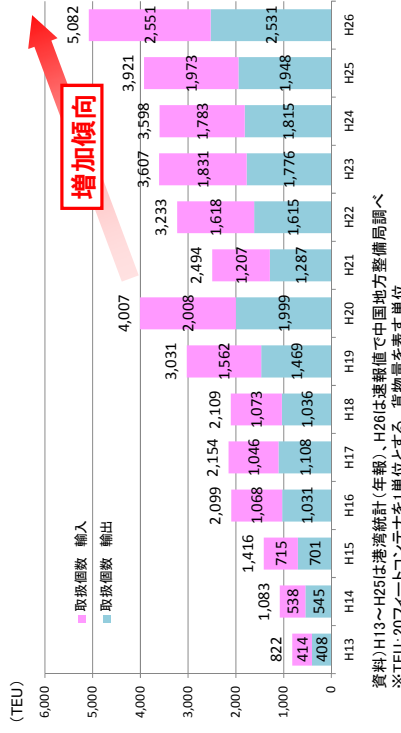
- ・浜田港(重点港湾)は韓国、ロシア、中国に近い好立地を活かし、日本海側拠点港(原木)に指定される等、重要性が高まっている。
- ・また、浜田港周辺には合板材を製造する工場が立地しており、国道9号を主要ルートとして製品が出荷されている。
- ・浜田・三隅道路の整備により、浜田港を活かした物流の効率化、国際・国内貿易の促進が期待される。

浜田港国際コンテナ貨物の主な輸送先(H25)

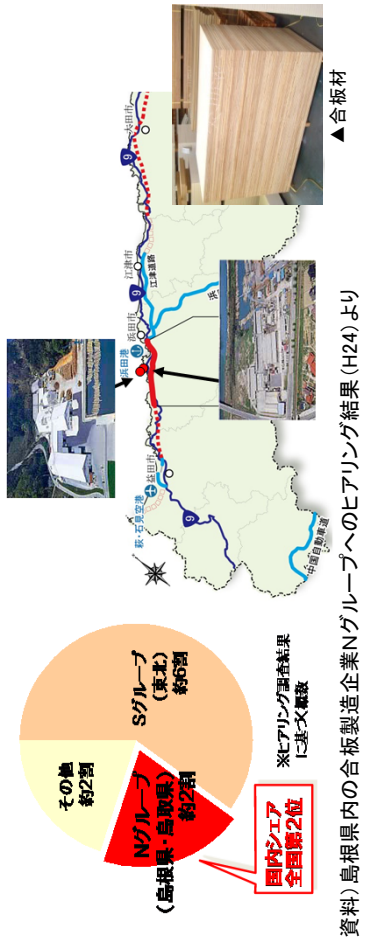


※ 図中の矢印の太さは貨物量を表し、輸送先(輸送元)は搬入量(搬出量)が多い代表的な地域を示しており、すべてのコンテナがその地域に運ばれているわけではない。
資料)浜田港振興会

浜田港の外貨コンテナ貨物取扱量の推移



【住宅用合板材の国内シェア※】 【浜田港周辺における木材品の製造拠点】

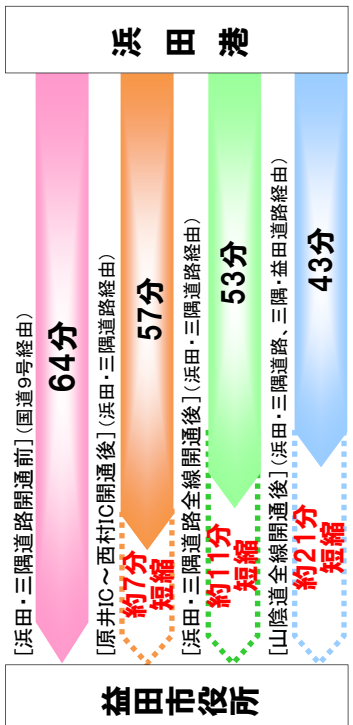


～地域の声～

- ・浜田港と高速道路の接続はぜひとも必要。山陰道が整備されれば、浜田港へのアクセスが飛躍的に改善され、原材料の輸入、製品の輸出が効率的になる。浜田港をもっと活かすためには欠かせない。
- ・アクセスルートが国道9号1本しかないことは、港の利用が敬遠される理由となる。
- ・山陰道の整備により、リードタイムの短縮や輸送コストの削減が期待できる。
- ・ひいては定期航路の拡大につながる。さらなる利用促進が期待できる。(H24.8浜田港振興会シェアリング)

期待される道路の役割(効果)

〔浜田港から益田市間の所要時間短縮〕



※ 原井IC～西村IC開通後:浜田・三隅道路はH27.5.13(水)期ピーク時時刻表
※ 浜田・三隅道路全線開通後及び山陰道全線開通後:浜田・三隅道路および三隅・益田道路はV=70km/h
※ その他の道路はH22道路交差セグメント混雑時旅行速度

5. コスト増額に関する費用

一般国道9号 浜田・三隅道路

■コスト増額に関する費用

項目	増額費用
①法面对策によるコスト増加(断層破砕帯等への対応による法面保護工事の実施)	13億円
②その他の増加(交通安全施設の設置、コンクリート舗装への変更等)	1億円
合計	14億円

5. コスト増額に関する費用

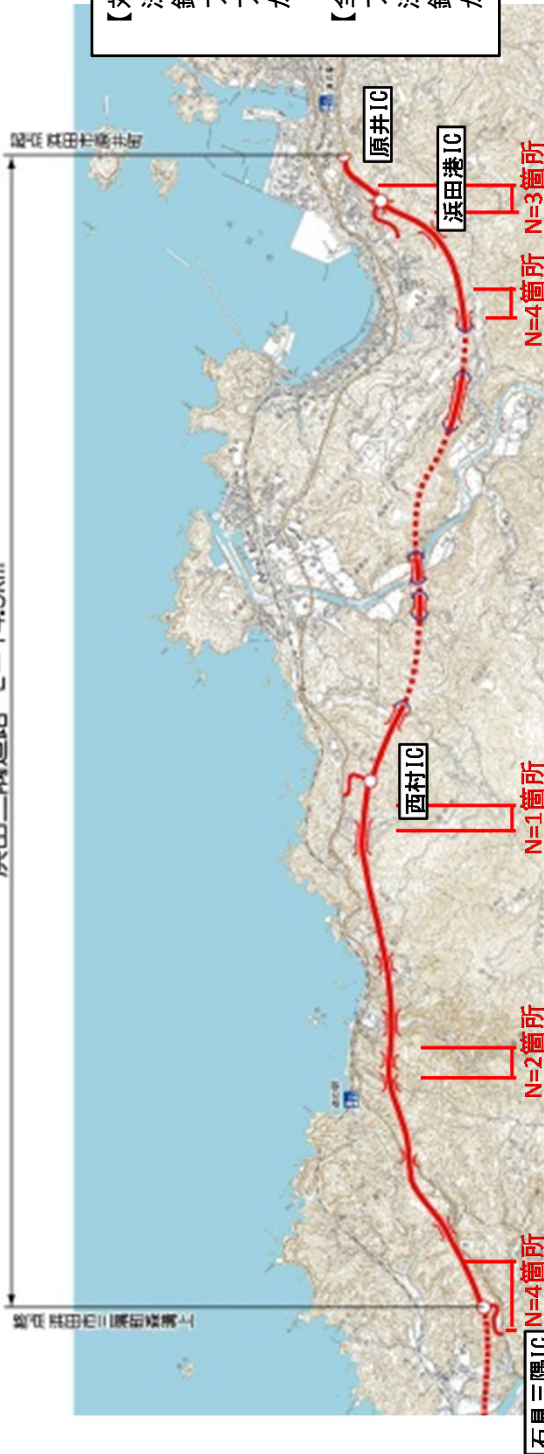
一般国道9号 浜田・三隅道路

①法面対策によるコスト増加

- 大雨や断層破砕帯等の影響による変状部の法面対策工の実施。
- 切土箇所で確認された流れ盤対策の実施。

⇒約13億円の増額

浜田三隅道路 L=14.5km



【対策内容】

法枠工	: 3箇所
鉄筋挿入工+法枠工	: 5箇所
アンカー工	: 3箇所
アンカー工+鉄筋挿入工	: 2箇所
かご工	: 1箇所

【全体数量】(14箇所分)

アンカー工	: 328本
法枠工	: 14,765m ²
鉄筋挿入工	: 2,233本
かご工	: 90m ²

崩壊要因と対策の例

【要 因】: 大雨により強度が低下して崩壊。
【対策工】: 鉄筋挿入工、法枠工にて対策を行う。



【要 因】: 最下段の表層が脆弱化し崩壊。
【対策工】: アンカー工にて対策を行う。



○平成25年度以降に大雨等のため、11箇所の法面崩壊が発生。

○その後、事業区間の法面点検等を行い、新たに3箇所の危険箇所を発見。

○法面崩壊11箇所と点検発見3箇所の計14箇所について、法面対策を実施。

5. コスト増額に関する費用

一般国道9号 浜田・三隅道路

②その他の増加

約1億円の増額



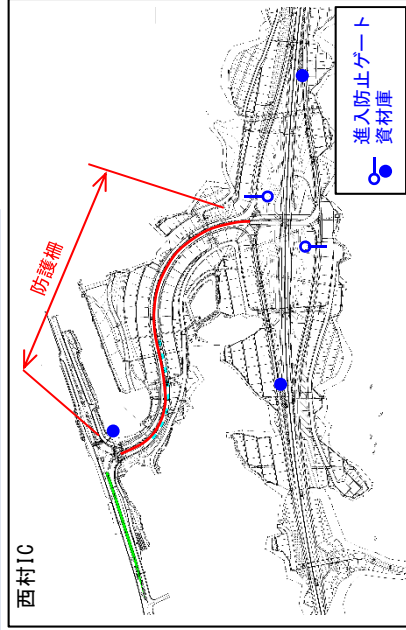
交通安全施設の設置によるコスト増加

設置理由

項目	設置理由
カラー舗装	誤進入防止、注意喚起のため
防護柵、アスカープ	車線逸脱防止、視線誘導のため
進入防止ゲート、資材庫	少人数で緊急時に対応するため

数量内訳

カラー舗装 A=1553m²
 防護柵 L=885m
 資材庫 N=8箇所
 進入防止ゲート N=4箇所
 アスカープ L=900m



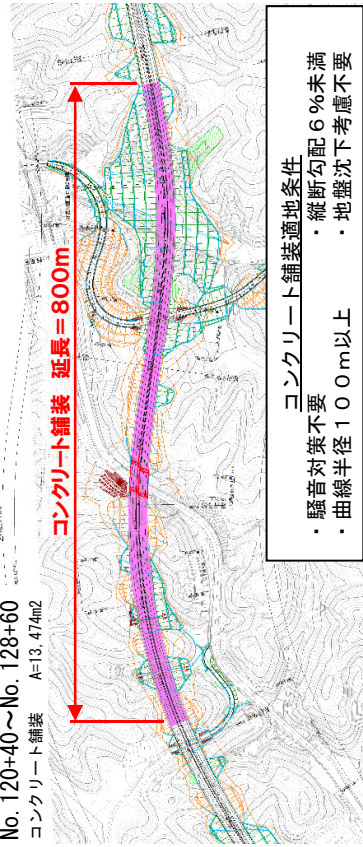
コンクリート舗装への変更によるコスト増加

設置理由

- ・中国地整では、道路舗装の長寿命化とライフサイクルコスト(LCC)縮減のため、コンクリート舗装の適地への活用を検討することとしている。
- ・浜田・三隅道路のH28年度開通区間の舗装着手にあたり、H26年度に検討した結果、白砂地区において、50年設計のコンクリート舗装を採用した。(ライフサイクルコスト：約▲0.6億円(開通後50年間))

No.120+40～No.128+60
 コンクリート舗装 A=13,474m²

コンクリート舗装 延長=800m



- コンクリート舗装適地条件
- ・騒音対策不要
 - ・縦断勾配6%未満
 - ・曲線半径100m以上
 - ・地盤沈下考慮不要

6. 事業の効果

一般国道9号 浜田・三隅道路

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用(C)	713	42
事業費	656	20
維持管理費	57	22
便益額(B)	1,026	643
走行時間短縮便益	757	479
走行経費減少便益	190	118
交通事故減少便益	79	46
費用便益比	1.4	15.4

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費(燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費)の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失(運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額等)が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

◇道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果[約8.5千トン/年のCO2削減][+4.8億円]※1
浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定
- ②道路構造不良箇所の回避[縦断線形 $i > 5.0\%$:5区間、平面線形 $R < 150m$:9箇所]
- ③重症患者の救急救命[例 浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約2分]
- ④交通・物流拠点へのアクセスの支援[例 益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約21分]※2
- ⑤沿道環境の改善 [NOX排出量:約27.9トン/年(約0.6%削減)、SPM排出量:約2.2トン/年(約0.8%削減)]

※1:[]は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2:三隅・益田道路の効果を含む

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
16,700台/日～17,700台/日	約585億円	713億円	1,026億円	+α	1.4 (15.4) +α

※基準年:H27年

7. 今後の対応方針

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇浜田港のコンテナ貨物取扱量が増加している。
- ◇平成26年度に原井IC～西村ICが部分開通し渋滞が緩和したものの、依然として交通事故等による通行止めが発生した場合大幅な迂回を強いられる。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比 (B/C) = 1.4 (事業全体) 15.4 (残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境への影響を考慮した効果 [約8.5千 t /年のCO₂削減] 【+4.8億円】 ※1
浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境 (CO₂) の改善効果を算定
 - ②道路構造不良箇所の回避 [縦断線形 i > 5.0% : 5区間、平面線形 R < 150m : 9箇所]
 - ③重症患者の救急救命 [例 浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約2分]
 - ④交通・物流拠点へのアクセスの支援 [例 益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約21分] ※2
 - ⑤沿道環境の改善 [NOx排出量 : 約27.9 t /年 (約0.6%削減)、SPM排出量 : 約2.2 t /年 (約0.8%削減)]

※1:【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値 (参考値)
※2: 三隅・益田道路の効果を含む

3) 事業の進捗状況

- ◇平成26年度未現在で用地買収については100%完了しており、現在は橋等の工事を推進中。

②事業の進捗見込み

- ◇西村IC～石見三隅ICを平成28年度の開通を予定している。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ◇今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

鳥根知事の意見：対応方針 (原案) について妥当である。

一般国道9号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成28年度での確実な供用を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区分についても、未着手区分間の早期事業着手、事業中区分間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

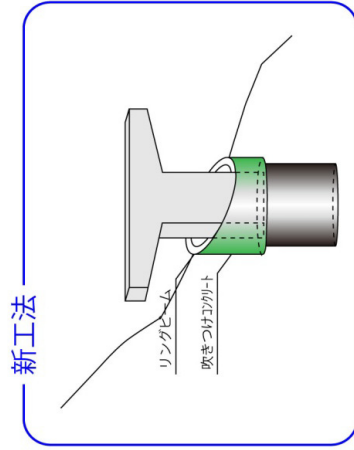
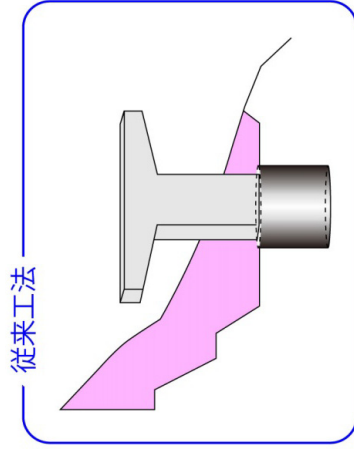
◆ 浜田・三隅道路 前回評価時との比較

	前回再評価 (平成25年度)	今回再評価 (平成27年度)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L = 14.5km	L = 14.5km	
計画交通量	16,700～17,700 台/日	16,700～17,700 台/日	
総事業費	約571億円	約585億円	・法面対策等によるコスト増加
総費用 (C)	652億円	713億円	・総事業費の増加 ・基準年の変更(H25基準からH27基準)
総便益 (B)	948億円	1,026億円	・基準年の変更(H25基準からH27基準)
費用対効果 (B/C)	1.5	1.4	

※費用/便益は基準年における現在価値の値

①急傾斜地の橋梁下部工事に竹割り型構造物掘削工法を採用

- ・地山の掘削面積を最小限に抑えられるため、自然環境に与える影響が小さくできる。
- ・長大な人工斜面の維持・管理費が不要。



コスト縮減額：約0.2億円

②伐採木・間伐材等の有効利用

- ・工事により発生する伐採木等をチップ化し、切土法面緑化のマルチング材※として利用することにより伐採木の処分費を縮減。

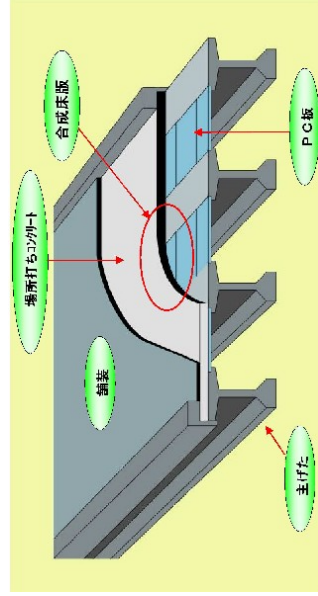
※土壌表面からの水分蒸発や雑草侵入を抑制、土壌浸食の防止等を目的として植物の根元を覆う材料



コスト縮減額：約2億円

③コンクリート橋上部工にPCコンボ橋を採用

- ・PCコンボ橋とは工場製作のセグメント化された主げたを組み立て、その上にPC板を敷設する工法であり、現場作業の省力化、主げたの少数化が期待できる工法。
- ・鋼橋2主桁橋をPCコンボ橋に変更することでコスト縮減を図っている。



コスト縮減額：約0.7億円



▲ PC板の敷設



▲ 完成後

④法面对策において軽量受圧板等を採用

- ・受圧板は斜面安定・地すべり抑止に用いられるグラウンドアンカー用の反力体。
- ・従来の現場打ち法砕やコンクリート製独立受圧板を軽量受圧板に変更する等によりコスト縮減を図っている。

コスト縮減額：約0.1億円



※事例①～③については、前回までの事業評価の再掲

一般国道9号浜田・三隅道路
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号 浜田・三隅道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>事業全体：費用便益比 (B/C) = 1.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 312億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.9%) 陸事業：費用便益比 (B/C) = 15.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 601億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 147.1%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p>■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が図込まれる</p> <p>■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が図込まれる</p> <p>■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が図込まれる</p> <p>□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p>□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p> <p>□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p>□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p>□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p>□ 中心市街地内で行う事業である</p> <p>□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である</p> <p>□ DID域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p>□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p>	<p>期間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (整備無) : 46,679千人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 830千人・時間/年 (46,679千人・時間/年⇒45,849千人・時間/年) 期間b (該当区間/並行区間) について 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失削減率 : 89%削減 (914千人・時間/年⇒99千人・時間/年) 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失削減率 : 89%削減 (914千人・時間/年⇒99千人・時間/年)</p> <p>対象区間 (浜田市熱田町) : 改善見込み (旅行速度17.8km/h⇒40.0km/h)</p> <p>石見交通の路線バスなど1日76便の利便性向上が見込まれる。</p> <p>対象駅：浜田駅 (特急停車駅)、対象自治体名：浜田市三隅支所、改善見込み：(三隅支所～浜田駅、42分⇒31分)</p> <p>対象空港：萩・石見空港 (第三種空港)、対象自治体：浜田市 改善見込み：(浜田市役所～萩・石見空港、69分⇒48分) ※三隅・基田道路の効果を含む</p> <p>対象港湾：浜田港 (重要港湾)、対象自治体：浜田市 改善見込み：(浜田市役所～浜田港、64分⇒43分) ※三隅・基田道路の効果を含む</p>
物流効率化の支援		
1. 活力 都市の再生		

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A 路線）としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心城市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心城市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地球連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/日以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者、自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通/バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通/バリアフリー法に基づき重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	<p>山陰自動車道</p> <p>浜田市～益田市間を高規格幹線道路で連絡する</p> <p>対象となる日常活動圏中心城市：浜田市～益田市</p> <p>対象自治体名：浜田市三隅町、日常活動圏中心城市：浜田市、改善見込み：（38分⇒27分）</p> <p>対象観光地：しまね海洋館アクアス（H26観光入込み客数：37万人）</p>
		<input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい町並みの形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心して暮らすための確保	<p>対象となる三次医療施設名称：浜田医療センター、アクセス向上が見込まれる自治体名：浜田市三隅町（23分⇒21分）</p>

3. 安全	安全な生活環境の確保 災害への備え	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/万台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/万台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、児童が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される	<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、児童が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される
		<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震防災緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震防災緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合）	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架橋の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	<input checked="" type="checkbox"/> 並行する現道に要防火対策箇所が8箇所存在
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する
4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <small>（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約9.5千トン/年、排出削減率：約0.4%削減（整備なし）約1,892千t/年、整備あり約1,884千t/年</small>
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <small>（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：27.9t/年、排出削減率：約0.6%削減（整備なし）4,911t/年⇒整備あり：4,883t/年</small>
5. その他	他のアジェンダとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <small>（推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：2.2t/年、排出削減率：約0.8%削減（整備なし）262t/年⇒整備あり：260t/年</small>
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される
		<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <small>「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり</small>
		<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <small>一般国道9号、三隅・森田道路 臨港道路、福井4号線</small>
<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <small>鳥根総合発展計画（第2次実施計画）平成24年9月 浜田市総合振興計画（後継基本計画）平成23年5月</small>		
<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に顧みない効果が早込まれる	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に顧みない効果が早込まれる		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道9号	浜田・三隅道路	L= 14.5 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,700~17,700	2	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成27年度		
単純合計	557億円	137億円	694億円
うち残事業分	21億円	54億円	74億円
基準年における 現在価値 (C)	656億円	57億円	713億円
うち残事業分	20億円	22億円	42億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成27年度			
供用年	平成29年度			
単年便益 (初年便益)	37億円	9.3億円	4.2億円	51億円
基準年における 現在価値 (B)	757億円	190億円	79億円	1,026億円
うち残事業分	479億円	118億円	46億円	643億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	313億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.8%
費用便益比（残事業）	15.4
経済的純現在価値（残事業）	601億円
経済的内部収益率（残事業）	147.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,700~17,700	±10%	1.2~1.7
事業費	557億円	±10%	1.4~1.4
事業期間	17年	±20%	1.4~1.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,700~17,700	±10%	13.6~17.4
事業費	21億円	±10%	14.7~16.1
事業期間	1年	±20%	15.1~15.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名：浜田・三隅道路（事業全体）

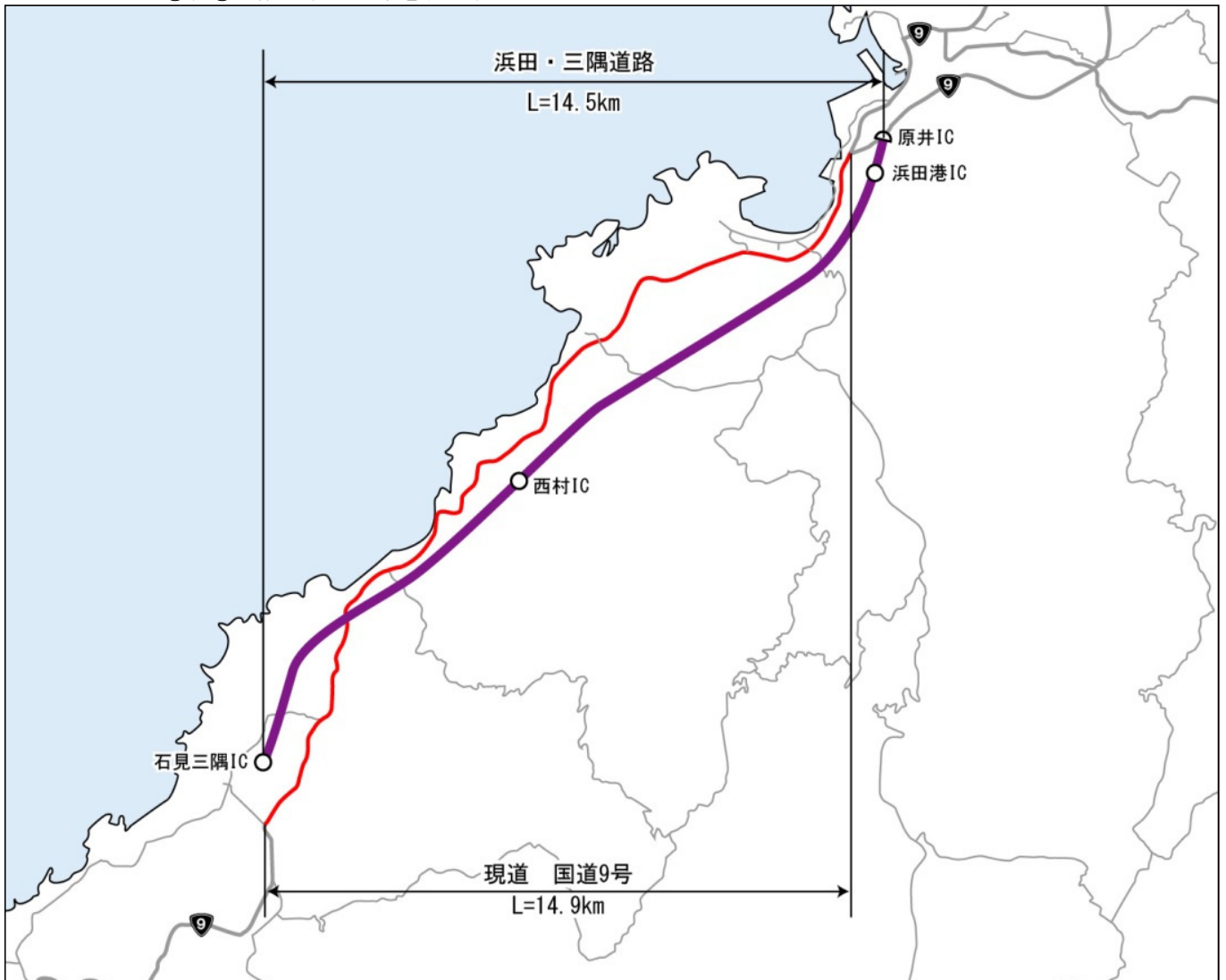
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	17,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	12	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	41.44	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道9号 : 14.9km	交通量	[台/日]	19,400	3,300
		走行時間	[分]	23	21
		走行時間費用	[億円/年]	88.49	12.52
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	4,261.43	4,257.83	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5419.1 km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,349.92	4,311.79	38.13

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：浜田・三隅道路（残事業）

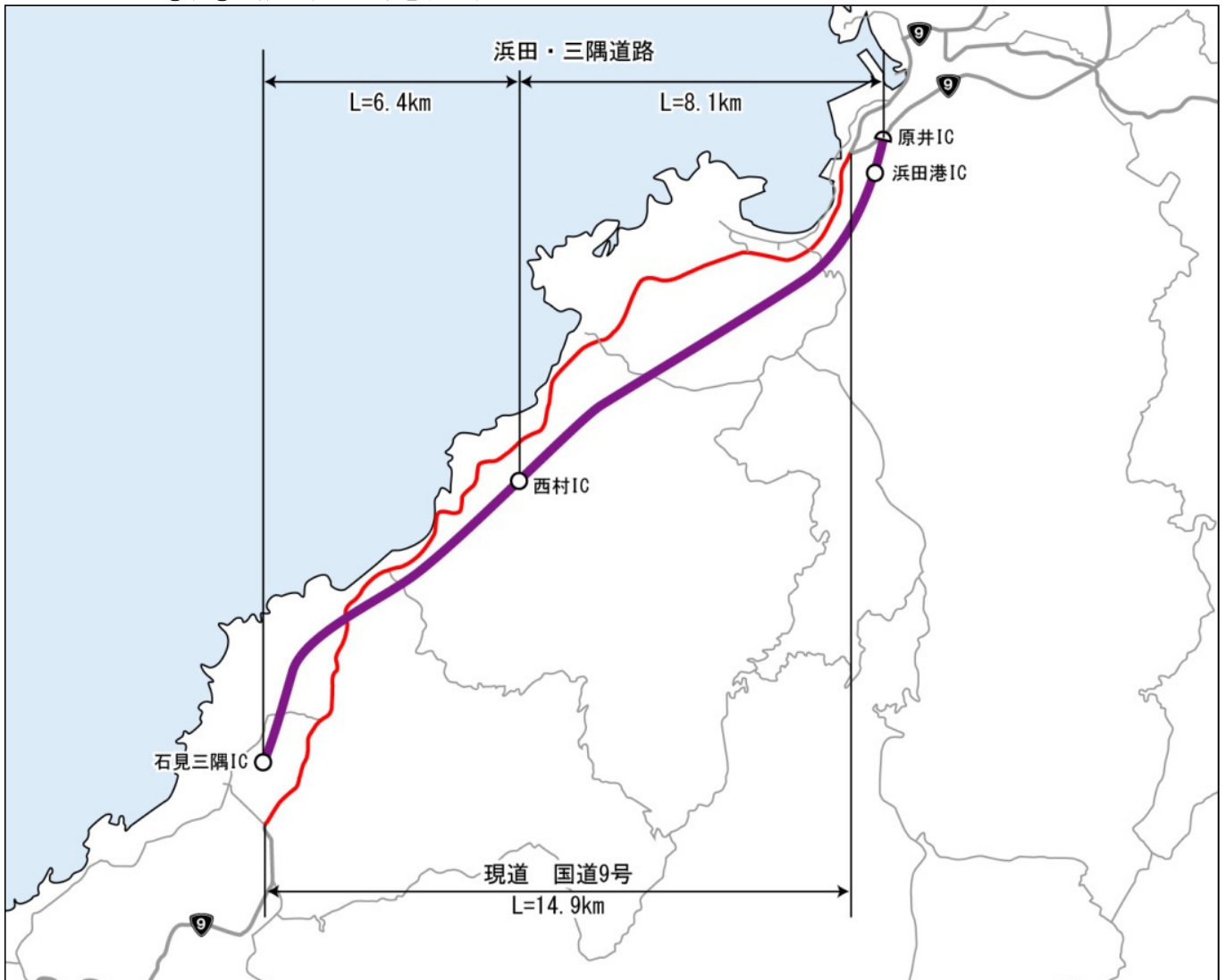
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	11,500	17,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	7	12	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	15.19	41.44	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道9号 : 14.9km	交通量	[台/日]	13,800	3,300
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	59.22	12.52
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	4,261.51	4,257.83	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5419.1 km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,335.92	4,311.79	24.13

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 浜田・三隅道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成27年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他(最終配分交通量とQV式の関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮 ※対象路線のみ	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		実績値に基づき維持管理費を算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 浜田・三隅道路(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.204	14.5	2.96	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 12	1.8009	107.2	0.96	1.47		
-16年目	H 13	1.7317	105.7	0.96	1.43		
-15年目	H 14	1.6651	103.8	0.96	1.40		
-14年目	H 15	1.6010	102.3	2.12	3.02		
-13年目	H 16	1.5395	101.0	8.44	11.72		
-12年目	H 17	1.4802	99.6	17.82	24.13		
-11年目	H 18	1.4233	98.7	34.72	45.61		
-10年目	H 19	1.3686	97.6	79.44	101.48		
-9年目	H 20	1.3159	96.8	66.16	81.94		
-8年目	H 21	1.2653	95.6	69.79	84.15		
-7年目	H 22	1.2167	93.7	70.74	83.68		
-6年目	H 23	1.1699	92.1	40.62	47.00		
-5年目	H 24	1.1249	91.3	26.97	30.27		
-4年目	H 25	1.0816	91.1	44.25	47.86		
-3年目	H 26	1.0400	91.1	53.64	55.79		
-2年目	H 27	1.0000	91.1	18.52	18.52		
-1年目	H 28	0.9615	91.1	20.54	19.75		
完成供用開始年次	H 29	0.9246	91.1			2.74	2.53
1年目	H 30	0.8890	91.1			2.74	2.44
2年目	H 31	0.8548	91.1			2.74	2.34
3年目	H 32	0.8219	91.1			2.74	2.25
4年目	H 33	0.7903	91.1			2.74	2.17
5年目	H 34	0.7599	91.1			2.74	2.08
6年目	H 35	0.7307	91.1			2.74	2.00
7年目	H 36	0.7026	91.1			2.74	1.93
8年目	H 37	0.6756	91.1			2.74	1.85
9年目	H 38	0.6496	91.1			2.74	1.78
10年目	H 39	0.6246	91.1			2.74	1.71
11年目	H 40	0.6006	91.1			2.74	1.65
12年目	H 41	0.5775	91.1			2.74	1.58
13年目	H 42	0.5553	91.1			2.74	1.52
14年目	H 43	0.5339	91.1			2.74	1.46
15年目	H 44	0.5134	91.1			2.74	1.41
16年目	H 45	0.4936	91.1			2.74	1.35
17年目	H 46	0.4746	91.1			2.74	1.30
18年目	H 47	0.4564	91.1			2.74	1.25
19年目	H 48	0.4388	91.1			2.74	1.20
20年目	H 49	0.4220	91.1			2.74	1.16
21年目	H 50	0.4057	91.1			2.74	1.11
22年目	H 51	0.3901	91.1			2.74	1.07
23年目	H 52	0.3751	91.1			2.74	1.03
24年目	H 53	0.3607	91.1			2.74	0.99
25年目	H 54	0.3468	91.1			2.74	0.95
26年目	H 55	0.3335	91.1			2.74	0.91
27年目	H 56	0.3207	91.1			2.74	0.88
28年目	H 57	0.3083	91.1			2.74	0.84
29年目	H 58	0.2965	91.1			2.74	0.81
30年目	H 59	0.2851	91.1			2.74	0.78
31年目	H 60	0.2741	91.1			2.74	0.75
32年目	H 61	0.2636	91.1			2.74	0.72
33年目	H 62	0.2534	91.1			2.74	0.69
34年目	H 63	0.2437	91.1			2.74	0.67
35年目	H 64	0.2343	91.1			2.74	0.64
36年目	H 65	0.2253	91.1			2.74	0.62
37年目	H 66	0.2166	91.1			2.74	0.59
38年目	H 67	0.2083	91.1			2.74	0.57
39年目	H 68	0.2003	91.1			2.74	0.55
40年目	H 69	0.1926	91.1			2.74	0.53
41年目	H 70	0.1852	91.1			2.74	0.51
42年目	H 71	0.1780	91.1			2.74	0.49
43年目	H 72	0.1712	91.1			2.74	0.47
44年目	H 73	0.1646	91.1			2.74	0.45
45年目	H 74	0.1583	91.1			2.74	0.43
46年目	H 75	0.1522	91.1			2.74	0.42
47年目	H 76	0.1463	91.1			2.74	0.40
48年目	H 77	0.1407	91.1			2.74	0.39
49年目	H 78	0.1353	91.1	-20.32	-2.75	2.74	0.37
合計				536.33	656.47	137.00	56.60
単純事業費計				556.65		137.00	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 浜田・三隅道路(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-1年目	H 28	0.9615	91.1	20.54	19.75		
完成供用開始年次	H 29	0.9246	91.1			1.07	0.99
1年目	H 30	0.8890	91.1			1.07	0.95
2年目	H 31	0.8548	91.1			1.07	0.91
3年目	H 32	0.8219	91.1			1.07	0.88
4年目	H 33	0.7903	91.1			1.07	0.85
5年目	H 34	0.7599	91.1			1.07	0.81
6年目	H 35	0.7307	91.1			1.07	0.78
7年目	H 36	0.7026	91.1			1.07	0.75
8年目	H 37	0.6756	91.1			1.07	0.72
9年目	H 38	0.6496	91.1			1.07	0.70
10年目	H 39	0.6246	91.1			1.07	0.67
11年目	H 40	0.6006	91.1			1.07	0.64
12年目	H 41	0.5775	91.1			1.07	0.62
13年目	H 42	0.5553	91.1			1.07	0.59
14年目	H 43	0.5339	91.1			1.07	0.57
15年目	H 44	0.5134	91.1			1.07	0.55
16年目	H 45	0.4936	91.1			1.07	0.53
17年目	H 46	0.4746	91.1			1.07	0.51
18年目	H 47	0.4564	91.1			1.07	0.49
19年目	H 48	0.4388	91.1			1.07	0.47
20年目	H 49	0.4220	91.1			1.07	0.45
21年目	H 50	0.4057	91.1			1.07	0.43
22年目	H 51	0.3901	91.1			1.07	0.42
23年目	H 52	0.3751	91.1			1.07	0.40
24年目	H 53	0.3607	91.1			1.07	0.39
25年目	H 54	0.3468	91.1			1.07	0.37
26年目	H 55	0.3335	91.1			1.07	0.36
27年目	H 56	0.3207	91.1			1.07	0.34
28年目	H 57	0.3083	91.1			1.07	0.33
29年目	H 58	0.2965	91.1			1.07	0.32
30年目	H 59	0.2851	91.1			1.07	0.31
31年目	H 60	0.2741	91.1			1.07	0.29
32年目	H 61	0.2636	91.1			1.07	0.28
33年目	H 62	0.2534	91.1			1.07	0.27
34年目	H 63	0.2437	91.1			1.07	0.26
35年目	H 64	0.2343	91.1			1.07	0.25
36年目	H 65	0.2253	91.1			1.07	0.24
37年目	H 66	0.2166	91.1			1.07	0.23
38年目	H 67	0.2083	91.1			1.07	0.22
39年目	H 68	0.2003	91.1			1.07	0.21
40年目	H 69	0.1926	91.1			1.07	0.21
41年目	H 70	0.1852	91.1			1.07	0.20
42年目	H 71	0.1780	91.1			1.07	0.19
43年目	H 72	0.1712	91.1			1.07	0.18
44年目	H 73	0.1646	91.1			1.07	0.18
45年目	H 74	0.1583	91.1			1.07	0.17
46年目	H 75	0.1522	91.1			1.07	0.16
47年目	H 76	0.1463	91.1			1.07	0.16
48年目	H 77	0.1407	91.1			1.07	0.15
49年目	H 78	0.1353	91.1	0.00	0.00	1.07	0.14
合計				20.54	19.75	53.50	22.10
単純事業費計				20.54		53.50	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名：浜田・三隅道路(事業全体)

便益の現在価値算定表

年次	年度 (事業年) H27	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			GDP 率	割引率 (A)	GDP 率	走行時間短縮便益(億円)		走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車種	小型貨物	普通貨物				乗用車種	小型貨物	普通貨物	乗用車種	小型貨物	普通貨物	現在価値 (A)×(2)	現在価値 (3)×(A)	現在価値 (3)	便益合計 (1)~(3)	割引率%
完成供開始年次	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.9246	91.1	14.09	5.86	17.19	34.33	37.14	34.33	3.87	4.19	8.58	50.61	48.79
1年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.8890	91.1	14.01	5.82	17.32	33.02	37.15	33.02	4.17	4.76	8.29	50.61	44.99
2年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.8548	91.1	13.94	5.77	17.48	31.76	37.16	31.76	4.15	4.75	7.95	50.61	43.26
3年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.8219	91.1	13.86	5.73	17.58	30.55	37.17	30.55	4.13	4.73	7.65	50.61	41.60
4年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7903	91.1	13.81	5.68	17.78	29.45	37.27	29.45	4.12	4.71	7.38	50.72	40.09
5年目	H 34	0.99605	0.99232	1.01092	0.99705	0.7599	91.1	13.75	5.64	17.97	28.39	37.36	28.39	4.11	4.71	7.12	50.84	38.63
6年目	H 35	0.99602	0.99226	1.01080	0.99704	0.7307	91.1	13.70	5.60	18.16	27.37	37.46	27.37	4.10	4.71	6.86	50.85	37.23
7年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.7026	91.1	13.64	5.55	18.36	26.39	37.56	26.39	4.08	4.71	6.62	51.06	35.88
8年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6756	91.1	13.59	5.51	18.55	25.44	37.65	25.44	4.07	4.71	6.38	51.18	34.57
9年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6496	91.1	13.54	5.47	18.75	24.52	37.75	24.52	4.06	4.71	6.16	51.29	33.32
10年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99700	0.6246	91.1	13.48	5.42	18.94	23.64	37.84	23.64	4.05	4.71	5.94	51.40	32.11
11年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.6006	91.1	13.43	5.38	19.13	22.79	37.94	22.79	4.04	4.71	5.73	51.52	30.94
12年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5775	91.1	13.37	5.34	19.33	21.96	38.04	21.96	4.03	4.71	5.53	51.63	29.81
13年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5553	91.1	13.32	5.29	19.52	21.17	38.13	21.17	4.02	4.71	5.33	51.74	28.73
14年目	H 43	0.99593	0.99330	1.00037	0.99202	0.5339	91.1	13.18	5.26	19.53	20.27	37.97	20.27	3.98	4.71	5.10	51.51	27.50
15年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.5134	91.1	13.05	5.22	19.54	19.41	37.81	19.41	3.95	4.71	4.89	51.27	26.32
16年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4936	91.1	12.92	5.19	19.54	18.58	37.65	18.58	3.92	4.71	4.68	51.04	25.20
17年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4746	91.1	12.78	5.15	19.55	17.79	37.48	17.79	3.88	4.71	4.48	50.81	24.12
18年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4564	91.1	12.65	5.11	19.56	17.03	37.32	17.03	3.85	4.71	4.29	50.57	23.08
19年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4388	91.1	12.51	5.08	19.57	16.31	37.16	16.31	3.82	4.71	4.11	50.34	22.09
20年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.4230	91.1	12.38	5.04	19.57	15.61	37.00	15.61	3.79	4.71	3.93	50.11	21.14
21年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.4057	91.1	12.25	5.01	19.58	14.94	36.83	14.94	3.76	4.71	3.77	49.87	20.23
22年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3901	91.1	12.11	4.97	19.59	14.31	36.67	14.31	3.72	4.71	3.61	49.64	19.37
23年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3751	91.1	11.98	4.94	19.59	13.70	36.51	13.70	3.69	4.71	3.45	49.41	18.53
24年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3607	91.1	11.84	4.90	19.60	13.11	36.35	13.11	3.66	4.71	3.31	49.17	17.74
25年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3468	91.1	11.71	4.87	19.61	12.55	36.18	12.55	3.63	4.71	3.17	48.94	16.97
26年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3335	91.1	11.58	4.83	19.62	12.01	36.02	12.01	3.60	4.71	3.03	48.71	16.24
27年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.3207	91.1	11.44	4.80	19.62	11.50	35.86	11.50	3.56	4.71	2.90	48.47	15.54
28年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.3083	91.1	11.31	4.76	19.63	11.01	35.70	11.01	3.53	4.71	2.78	48.24	14.87
29年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2965	91.1	11.17	4.72	19.64	10.53	35.54	10.53	3.50	4.71	2.66	48.01	14.23
30年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2851	91.1	11.04	4.69	19.65	10.08	35.37	10.08	3.47	4.71	2.55	47.77	13.62
31年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2741	91.1	10.90	4.65	19.65	9.65	35.21	9.65	3.44	4.71	2.44	47.54	13.03
32年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2636	91.1	10.77	4.62	19.66	9.24	35.05	9.24	3.40	4.71	2.33	47.30	12.47
33年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2534	91.1	10.64	4.58	19.67	8.84	34.89	8.84	3.37	4.71	2.23	47.07	11.93
34年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2437	91.1	10.50	4.55	19.67	8.46	34.72	8.46	3.34	4.71	2.14	46.84	11.41
35年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2343	91.1	10.37	4.51	19.68	8.10	34.56	8.10	3.31	4.71	2.05	46.60	10.92
36年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2253	91.1	10.23	4.48	19.69	7.75	34.40	7.75	3.28	4.71	1.96	46.37	10.45
37年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2166	91.1	10.10	4.44	19.70	7.42	34.24	7.42	3.24	4.71	1.87	46.14	9.99
38年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.2083	91.1	9.97	4.41	19.70	7.10	34.08	7.10	3.21	4.71	1.79	45.90	9.56
39年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.2003	91.1	9.83	4.37	19.71	6.81	33.91	6.81	3.18	4.71	1.72	45.67	9.15
40年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1926	91.1	9.70	4.33	19.72	6.50	33.75	6.50	3.15	4.71	1.64	45.44	8.75
41年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1852	91.1	9.56	4.30	19.73	6.22	33.59	6.22	3.12	4.71	1.57	45.20	8.37
42年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1780	91.1	9.43	4.26	19.73	5.95	33.43	5.95	3.08	4.71	1.51	44.97	8.01
43年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1712	91.1	9.30	4.23	19.74	5.69	33.28	5.69	3.05	4.71	1.44	44.74	7.66
44年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1646	91.1	9.16	4.19	19.75	5.45	33.10	5.45	3.02	4.71	1.38	44.50	7.33
45年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1583	91.1	9.03	4.16	19.75	5.21	32.94	5.21	2.99	4.71	1.32	44.27	7.01
46年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1522	91.1	8.89	4.12	19.76	5.04	32.78	5.04	2.96	4.71	1.26	44.04	6.70
47年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1463	91.1	8.76	4.09	19.77	4.82	32.62	4.82	2.92	4.71	1.21	43.80	6.41
48年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1407	91.1	8.63	4.05	19.78	4.65	32.45	4.65	2.89	4.71	1.16	43.57	6.13
49年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1353	91.1	8.49	4.02	19.78	4.43	32.29	4.43	2.86	4.71	1.11	43.33	5.86
合計								581.68	244.96	963.65	1,790.29	756.61	180.42	255.60	451.21	190.31	2,421.92	1,025.86

便益の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路(残事業)

年度 (事業年) H27	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			GDP 率	割引率 (A)	現在価値 ① 計	走行時間短縮便益(億円)			現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円)			現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円)			現在価値 ③×(A)	合計 (億円)	
	乗用車種	小型貨物	普通貨物				乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物
完成供用開始年次	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.9246	7.66	3.27	12.27	23.20	23.20	1.78	0.61	3.26	5.64	5.21	2.44	2.26	31.29	28.93
1年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.8890	7.62	3.25	12.36	23.23	20.65	1.77	0.60	3.28	5.65	5.02	2.43	2.16	31.32	27.84
2年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.8548	7.58	3.23	12.46	23.26	19.88	1.76	0.60	3.31	5.66	4.84	2.42	2.07	31.34	26.79
3年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.8219	7.54	3.20	12.55	23.29	19.14	1.75	0.59	3.33	5.67	4.66	2.41	1.98	31.37	25.78
4年目	H 33	0.99450	0.99248	1.01104	0.99706	0.7903	7.51	3.18	12.69	23.37	18.47	1.74	0.59	3.37	5.70	4.50	2.41	1.90	31.47	24.87
5年目	H 34	0.99605	0.99232	1.01092	0.99705	0.7599	7.45	3.15	12.83	23.46	17.82	1.73	0.58	3.41	5.72	4.35	2.40	1.82	31.58	24.00
6年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.7307	7.42	3.13	12.97	23.54	17.20	1.73	0.58	3.44	5.75	4.20	2.39	1.75	31.68	23.15
7年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.7026	7.42	3.10	13.10	23.63	16.60	1.72	0.58	3.48	5.77	4.06	2.38	1.68	31.78	22.33
8年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6756	7.39	3.08	13.24	23.71	16.02	1.71	0.57	3.52	5.80	3.92	2.38	1.61	31.89	21.54
9年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6496	7.36	3.05	13.38	23.79	15.46	1.71	0.57	3.55	5.82	3.78	2.37	1.54	31.99	20.78
10年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.6246	7.33	3.03	13.52	23.88	14.91	1.70	0.56	3.59	5.85	3.65	2.36	1.48	32.09	20.04
11年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.6006	7.30	3.01	13.66	23.96	14.39	1.69	0.56	3.63	5.88	3.53	2.36	1.42	32.20	19.34
12年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5775	7.27	2.98	13.80	24.05	13.89	1.68	0.55	3.66	5.90	3.41	2.35	1.36	32.30	18.65
13年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5553	7.24	2.96	13.94	24.13	13.40	1.68	0.55	3.70	5.93	3.29	2.34	1.30	32.40	17.99
14年目	H 43	0.99593	0.99330	1.00037	0.99202	0.5339	7.17	2.94	13.94	24.05	12.84	1.66	0.54	3.70	5.91	3.15	2.32	1.24	32.28	17.23
15年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.5134	7.09	2.92	13.95	23.96	12.30	1.64	0.54	3.70	5.89	3.02	2.30	1.18	32.15	16.51
16年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4936	7.02	2.90	13.95	23.87	11.78	1.63	0.54	3.70	5.87	2.90	2.29	1.13	32.02	15.81
17年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4746	6.95	2.88	13.96	23.78	11.29	1.61	0.53	3.71	5.85	2.78	2.27	1.08	31.90	15.14
18年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4564	6.88	2.86	13.96	23.70	10.81	1.59	0.53	3.71	5.83	2.66	2.25	1.03	31.77	14.50
19年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4388	6.80	2.84	13.97	23.61	10.36	1.58	0.53	3.71	5.81	2.55	2.23	0.98	31.65	13.89
20年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.4220	6.73	2.82	13.97	23.52	9.92	1.56	0.52	3.71	5.79	2.44	2.21	0.93	31.52	13.30
21年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.4057	6.66	2.80	13.98	23.43	9.51	1.54	0.52	3.71	5.77	2.34	2.19	0.89	31.40	12.74
22年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3901	6.58	2.78	13.98	23.35	9.11	1.53	0.51	3.71	5.75	2.24	2.17	0.85	31.27	12.20
23年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3751	6.51	2.76	13.99	23.26	8.72	1.51	0.51	3.71	5.73	2.15	2.16	0.81	31.15	11.68
24年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3607	6.44	2.74	13.99	23.17	8.36	1.49	0.51	3.72	5.71	2.06	2.14	0.77	31.02	11.19
25年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3468	6.37	2.72	14.00	23.08	8.01	1.48	0.50	3.72	5.70	1.98	2.12	0.73	30.90	10.72
26年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3335	6.29	2.70	14.00	23.00	7.67	1.46	0.50	3.72	5.68	1.89	2.10	0.70	30.77	10.26
27年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.3207	6.22	2.68	14.01	22.91	7.35	1.44	0.50	3.72	5.66	1.81	2.08	0.67	30.65	9.83
28年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.3083	6.15	2.66	14.01	22.82	7.04	1.42	0.49	3.72	5.64	1.74	2.06	0.64	30.52	9.41
29年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2965	6.07	2.64	14.02	22.73	6.74	1.41	0.49	3.72	5.62	1.67	2.04	0.61	30.39	9.01
30年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2851	6.00	2.62	14.02	22.65	6.46	1.39	0.49	3.72	5.60	1.60	2.02	0.58	30.27	8.63
31年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2741	5.93	2.60	14.03	22.56	6.18	1.37	0.48	3.72	5.58	1.53	2.01	0.55	30.14	8.26
32年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2636	5.86	2.58	14.03	22.47	5.92	1.36	0.48	3.73	5.56	1.47	1.99	0.52	30.02	7.91
33年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2534	5.78	2.56	14.04	22.38	5.67	1.34	0.47	3.73	5.54	1.40	1.97	0.50	29.89	7.58
34年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2437	5.71	2.54	14.04	22.30	5.43	1.32	0.47	3.73	5.52	1.35	1.95	0.48	29.77	7.25
35年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2343	5.64	2.52	14.05	22.21	5.20	1.31	0.47	3.73	5.50	1.29	1.93	0.45	29.64	6.95
36年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2253	5.56	2.50	14.06	22.12	4.98	1.29	0.46	3.73	5.48	1.24	1.91	0.43	29.52	6.65
37年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2166	5.49	2.48	14.06	22.03	4.77	1.27	0.46	3.73	5.47	1.18	1.89	0.41	29.39	6.37
38年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.2083	5.42	2.46	14.07	21.95	4.57	1.26	0.46	3.73	5.45	1.13	1.87	0.39	29.27	6.10
39年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.2003	5.35	2.44	14.07	21.86	4.38	1.24	0.45	3.74	5.43	1.09	1.86	0.37	29.14	5.84
40年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1926	5.27	2.42	14.08	21.77	4.19	1.22	0.45	3.74	5.41	1.04	1.84	0.35	29.02	5.59
41年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1852	5.20	2.40	14.08	21.68	4.01	1.21	0.45	3.74	5.39	1.00	1.82	0.34	28.89	5.35
42年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1780	5.13	2.38	14.09	21.60	3.84	1.19	0.44	3.74	5.37	0.96	1.80	0.32	28.76	5.12
43年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1712	5.06	2.36	14.09	21.51	3.68	1.17	0.44	3.74	5.35	0.92	1.78	0.30	28.64	4.90
44年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1646	4.98	2.34	14.10	21.42	3.53	1.15	0.43	3.74	5.33	0.88	1.76	0.29	28.51	4.69
45年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1583	4.91	2.32	14.10	21.33	3.38	1.14	0.43	3.74	5.31	0.84	1.74	0.28	28.39	4.49
46年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1522	4.83	2.30	14.11	21.25	3.23	1.12	0.43	3.75	5.29	0.81	1.73	0.26	28.26	4.30
47年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1463	4.76	2.28	14.11	21.16	3.10	1.10	0.42	3.75	5.27	0.77	1.71	0.25	28.14	4.12
48年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1407	4.69	2.26	14.12	21.07	2.96	1.09	0.42	3.75	5.25	0.74	1.69	0.24	28.01	3.94
49年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1353	4.62	2.24	14.12	20.98	2.84	1.07	0.42	3.75	5.24	0.71	1.67	0.23	27.89	3.77
合計							316.22	136.87	687.91	1,141.00	479.43	73.29	25.37	182.84	281.29	117.74	103.32	48.08	1,527.62	643.26

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					45,425	
改良費					14,688	
	土工		m ³	9,166,261	6,630	切土(2,605,340m ³)、盛土(3,056,730m ³)
	軟弱地盤改良工		m ³	22,464	197	
	法面工		m ²	364,218	2,568	切土法面、盛土法面
	擁壁工		式	1	650	補強土壁、ブロック積擁壁等
	管渠工		m	3,697	615	
	函渠工		m	563	577	
	排水工		m	62,435	916	
	中央分離帯工		m	10,454	224	
	雑工		式	1	2,310	工事用道路等
橋梁費					12,984	
	100m以上		m	1,729	9,874	PC橋(6橋)、鋼橋(3橋)
	100m未満		m	560	3,110	PC橋(11橋)
トンネル費					7,916	
	NATM		m	3,726	7,916	4本
	シールド		m	—	—	
IC・JCT費					4,650	
	IC		箇所	4	4,650	ダイヤモンド型(4箇所)
	JCT		箇所	—	—	
舗装費					2,658	
	車道舗装		m ²	217,049	2,658	
	歩道舗装		m ²	—	—	
附帯施設費					2,529	
	交通管理施設工		式	1	2,529	標識工、防護柵工等
	遮音壁		m	—	—	
②用地及び補償費					4,550	
用地費					2,032	
	宅地		m ²	95,762	1,071	
	田畑		m ²	152,715	551	
	山林・原野		m ²	721,880	410	
	その他		m ²			
補償費					2,518	
③間接経費					8,525	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					58,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					1,989	
改良費					311	
	土工		m3	100,000	65	
	軟弱地盤改良工		m3	0	0	
	法面工		m ²	7,600	40	切土法面、盛土法面
	擁壁工		式	0	0	
	管渠工		m	0	0	
	函渠工		m	0	0	
	排水工		m	3,000	43	
	中央分離帯工		m	2,000	43	
	雑工		式	1	120	工事用道路等
橋梁費					285	
	100m以上		m	51	285	PC橋(1橋)
	100m未満		m	0	0	
トンネル費					0	
	NATM		m	0	0	4本
	シールド		m	—	—	
IC・JCT費					129	
	IC		箇所	1	129	ダイヤモンド型(1箇所)
	JCT		箇所	—	—	
舗装費					750	
	車道舗装		m ²	59,524	750	
	歩道舗装		m ²	—	—	
附帯施設費					514	
	交通管理施設工		式	1	514	標識工、防護柵工等
	遮音壁		m	—	—	
②用地及び補償費					2	
用地費						
	宅地		m ²	0	0	
	田畑		m ²	0	0	
	山林・原野		m ²	0	0	
	その他		m ²			
補償費						
			式	1	2	
③間接経費						
			式	1	227	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					2,218	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(全体事業費)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	14.5km

■維持管理費内訳

(50年・税込)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.5	2,916	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,880	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			14,796	

(残事業費)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	浜田・三隅道路	2	6.4km

■維持管理費内訳

(50年・税込)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.4	1,242	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,536	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			5,778	

一般国道9号浜田・三隅道路
〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第29号
国中整港計第6号
平成27年7月28日

島根県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成27年8月19日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道9号浜田・三隅道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成27年8月12日（水）までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

国土交通省 中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田（内線：3153）

施策分析評価係長 藤野（内線：3186）

TEL：082-221-9231（代表）

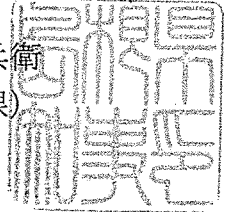
FAX：082-227-2651

高推第60号

平成27年8月4日

中国地方整備局長 様

島根県知事 溝口 善兵衛
(土木部高速道路推進課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成27年7月28日付け国中整企画第29号、国中整港計第6号で意見照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については、別紙のとおり異存ありません。

記

- ・一般国道9号浜田三隅道路

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道9号浜田・三隅道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>一般国道9号浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成28年度での確実な供用を図って頂きたい。</p> <p>また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。</p> <p>なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。</p>	